



校庭いっぱいに溢れる活気と笑顔!～運動会・体育祭～

市内の多くの小・中学校で運動会・体育祭が行われました。今年度も、各校では実施種目や方法を工夫するなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの開催となりました。限られた条件がある中でも、各学校では、組団のリーダーや応援団長などが中心となり、それぞれが目指すゴールに向かって全力で練習や準備を進めてきました。

当日は、全力で競技に取り組んだり、いきいきと表現したりするなど、自分たちの力を存分に発揮しました。また、仲間を精一杯応援したり、係活動で自分の役割をしっかりと行ったりするなど、子どもたちのいきいきと取り組む姿がたくさん見られました。子どもたちの頑張りに、観客席からたくさんの温かい拍手が送られました。



全力演技 はじける笑顔



小学生と中学生が心を合わせて記録に挑戦



ゴールに向かって一直線



組団の勝利を目指して

今年度は、新たな試みである小・中学校合同での実施や、PTA参加の種目、親子競技を取り入れるなど、様々な取り組みも行われ、これまで以上に校庭いっぱいに大勢の人たちの活気と笑顔が溢れました。

どの学校の子どもたちも練習の成果を発揮し、全力でやり抜くことの大切さ、仲間と協力することの素晴らしさなど、大きな充実感・達成感を味わうことができた運動会・体育祭となりました。きっと、子どもたち一人ひとりの胸に大切な思い出の1ページとして刻まれたことと思います。

今回の行事をとおして身に付けた力を自信とし、2学期以降の行事や学習でのさらなる成長と活躍が期待されます。



問い合わせ 学校教育課 (68-9118)



～ ロマンに満ちた義経北行伝説 ～ みやこ市民劇

5月21日(土)、22日(日)に市民文化会館大ホールで、みやこ市民劇、第3回公演「さらば義経」が上演されました。



義経一行

今回の市民劇は、悲劇の英雄「源義経」が奥州平泉から生き逃れ、安住の地を求めて北行したとされる「義経北行伝説」が題材です。

義経が長く滞在した宮古での様々な人との関わり、出会いと別れをオリジナルの音楽に乗せ、出演者は見事に演技きりました。

大道具、小道具、衣装、全てがスタッフによる手作り。

劇のために作ったオリジナル楽曲のコーラスとアンサンブルによる生演奏とが一体になった舞台に観客は引き込まれました。

劇中では、川井地域に伝わる市指定無形民俗文化財の「箱石こうきりこ」の踊りが復活しました。

また、小国の里の場面では、市長をはじめ特別出演者の名演技に会場は大いに沸きました。エンディングでは、みやこ市民劇テーマソング「カーテンコールよ、永遠に」が披露され、出演者スタッフ全員で思いを込めて歌い上げ、感動のフィナーレとなりました。来場者のみなさまは、最後までたくさんの演出に驚きを隠せない様子で見入っていました。



感動のフィナーレ



問い合わせ 文化課 (65-7526)

第7回宮古市長杯スナッグゴルフ大会が開催されました

6月25日(土)、宮古カントリークラブ1番ホール特設コースにて、第7回宮古市長杯スナッグゴルフ大会が開催されました。

東日本大震災後、宮古市に多くの支援をいただいている日本ゴルフツアー機構主催の大会で、9ホールをプレーし合計ストロークで順位を競うものです。

3年ぶりの開催となりましたが、ギャラリーを沸かせるプレーや団体戦における連携プレーなどが随所に見られました。

個人戦と団体戦のどちらも、最後まで目が離せない熱戦が繰り広げられました。



ナイスショット！

【🏆大会結果🏆】

○個人戦

優勝：石垣 歩音 (田老第一小学校3年)

準優勝：渡邊 征一郎 (宮古小学校5年)

第3位：大下 花和 (宮古小学校4年)

○団体戦 優勝：宮古小学校



表彰式の様子

団体戦で優勝した宮古小学校チームは7月17日(日)に福島県で開催された全国大会に出場し、岩手県の代表として堂々とプレーしました。



問い合わせ 生涯学習課 (68-9120)

第24回企画展「『はっくつ』－ほる・はかる・かんがえる－」

「発掘」と言えば、テレビの特別番組で放送される「古代エジプト文明や〇〇文明でお宝を発見!」というイメージを持っている方も多いのではないのでしょうか。

実は、私たちの住むこの宮古市でも遺跡の「発掘」は行われていて、建物や道路を建設する際に実施する場合があります。その「発掘」について知ってもらうため、崎山貝塚縄文の森ミュージアムでは9月25日(日)まで、第24回企画展「『はっくつ』－ほる・はかる・かんがえる－」を開催しています。

市内の発掘現場で行われている作業の様子や、出土した資料の整理作業をパネルで紹介。ほかにも、実際に地面を掘って出土品と最初に出会う発掘調査員の発見秘話や苦労話などのエピソードを交えたスペシャルな一品、発掘で長年愛用している必須アイテムなども展示。ミニ体験コーナーでは、発掘の現場で使用する普段は目にすることの少ない測量機械や、出土品の撮影に使用する専用カメラも操作できます。

「ちょっと難しいのかな…」という印象を持たれがちなミュージアムですが、今回の企画展では小・中学生にもわかりやすく紹介しています。夏休みの自由研究に、崎山貝塚縄文の森ミュージアムへお立ち寄りください。

○開催期間

7月9日(土)から
9月25日(日)まで

○開催会場

崎山貝塚縄文の森
ミュージアム企画
展示室



発掘調査で使用する道具



発掘調査の様子



問い合わせ 文化課 (65-7526)

ちゅうこうどき

注口土器から見える縄文の美と祈り展 ～令和3年度埋蔵文化財センター企画展～

埋蔵文化財センターでは、令和4年3月5日(土)から27日(日)まで注口土器と呼ばれる縄文土器を集めた企画展を開催しました。市内の近内中村遺跡のほか、岩手県指定有形文化財に登録された軽米町長倉Ⅰ遺跡など、岩手県内11市町村の注口土器を展示しました。

開催期間中には、講師をお招きして注口土器から見える縄文人の精神文化について講演いただきました。参加者はメモをとるなど、熱心に講師の話に耳を傾けました。講演会後には、展示会場で注口土器を前に、解説会を開きました。参加者からは「注口土器の見方が変わった」「装飾や文様が精巧に作られており、きれいだった」などの感想が聞かれ、注口土器の魅力に惹かれていた様子でした。



講演会後の企画展示室の様子



問い合わせ 文化課 (65-7527)

1人1台のタブレットを活用して、学びを深めています

小・中学校に1人1台のタブレットが導入されて、1年が経とうとしています。現在、それぞれの学校で活用が進み、各教科や学校生活で利用されています。

ICTを最大限に活用しながら、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、一人ひとりを大切にした学習の充実に取り組んでいます。

学校の授業では、子どもたちが新たなツールをもとに学びの可能性を広げています。

双方向型学習支援アプリを活用した協働学習



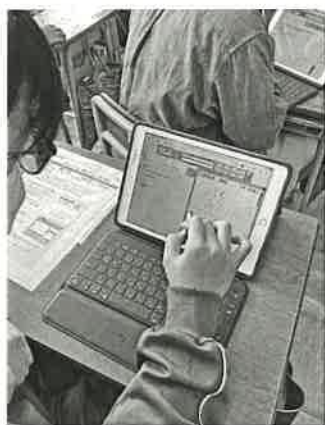
一斉授業での活用の様子

では、各教科において意見の交流や考えの整理に活用しています。

また、インターネットを用いた情報収集や、写真、動画等による記録を行い、学習の幅を広げています。

基礎学力向上のため 今年度からAIドリルを導入しました

宮古市では、基礎学力向上のためAIドリルを導入しています。国語、算数・数学、社会、理科、英語など個人の伸びに応じて適切な学習ができるように配慮されたドリルです。授業や学校生活の中で利用が進んでいます。



AIドリルを用いた個別学習

GIGAスクール構想の実現に向けて 教職員の研修を行っています

宮古市では、1人1台のタブレットを子どもたちが授業や学校生活で円滑に活用できるよう、教職員向けの研修会を実施しています。

研修会では、タブレットを通した双方向型の一斉授業の方法や、授業での効果的な活用方法などについて講義や演習を行い、端末のよさを取り入れた授業を目指して熱心に学ぶ教職員の姿が見られました。



教職員の研修会の様子

	「1人1台端末」の環境で期待される効果
一斉授業	・教師の説明に対する疑問や自分なりの考えなどを書き込むことができる ■児童生徒一人ひとりの反応を踏まえた双方向型の一斉授業が可能に
個別学習	・個々が同時に別々の内容を学習 ・個々の学習履歴を記録 ■一人ひとりの教育的ニーズや学習状況に応じた個別学習が可能に
協働学習	・各自が互いの考えをリアルタイムで共有 ・児童生徒同士で双方向の意見交換が可能に ■各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れられる

子どもたちが、変化の激しいこれからの社会を生き抜く力を育むため、保護者や関係者の皆様の協力をいただきながらGIGAスクール構想を推進していきます。ご理解とご協力をよろしくお願いします。



問い合わせ 学校教育課 (68-9118)

第52期(令和4年度)宮古市社会経験者大学がスタートしました

令和4年度で第52期を迎える宮古市社会経験者大学では、市内に住む概ね60歳以上の方を対象とし、月1回程度の講座やものづくり教室、クラブ活動などを行っています。対象となる方であればどなたでも入学でき、講座やクラブ活動への参加は自由です。毎年5月から12月までの学習期間で、秋には「社会経験者大学祭」も開催されます。入学は随時受け付けていますので、年度の途中からでも入学可能です。もちろん、初めて入学される方も大歓迎です。お友達同士でのご入学もお待ちしております。

5月12日(木)に中央公民館2階多目的ホールで第52期(令和4年度)宮古市社会経験者大学開講式・記念公演が行われ、57名の学生が新たな目標を胸に参加しました。開講式終了後の記念公演では、Graziaの皆様によるミニコンサートが開かれ、素敵な演奏に会場全体が包み込まれました。参加した学生からは「大変感動しました」「久しぶりに楽しい時間を過ごしました」など多くの感想をいただき、心温まるひと時となりました。

講座は「健康づくりに関するもの」や「行政・まちづくりに関するもの」といった様々なテーマで開催し、軽運動や体験型の講座もあり、幅広い内容で開催しています。今年度の第2回講座は6月1日(水)と2日(木)の2日間に分けて、市民総合体育館で開催しました。内容は3B体操で、先生のお手本を見ながら音楽に合わせて、しっかりと体を動かしていました。



3B体操で音楽に合わせて体を動かす参加者

今年度のものづくり教室は、種類を変えて3回実施予定です。作品は大学祭で展示予定ですので、個性あふれる作品の数々をどうぞお楽しみに♪



問い合わせ 中央公民館分館 (63-4700)

高田式体育教室ダイヤモンドキッズカレッジが開催されました

6月26日(日)、市民総合体育館で、高田式体育教室ダイヤモンドキッズカレッジが開催されました。元プロレスラー・元総合格闘家でタレントの高田延彦さんが代表を務める高田道場主催のこのイベントは、新型コロナウイルス感染症の影響もあり3年ぶりの開催となりました。

今回は、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、満5歳児から小学校6年生までのお子さんと保護者の方を参加対象としました。



親子の触れ合いの様子



高田さんとグータッチ

40組80名の親子ペアが参加し、高田道場オリジナルの体操教室を楽しみました。親子の絆も深まり、とても楽しく有意義な時間となりました。

高田さんからは「久しぶりに宮古に来て、楽しい時間を共有できて感無量。どのようなプログラムになるか分からないが、来年も必ず宮古に来る」とのお言葉をいただきました。



問い合わせ 生涯学習課 (68-9120)

市指定文化財も展示しています！

北上山地民俗資料館では、国指定の重要有形民俗文化財「北上山地川井村の山村生産用具コレクション」を展示、公開していますが、この度、市指定文化財を新たに2階展示室の一面で展示、公開することになりました。

1点目は、「^{こんどうどくそんざそうかけぼとけ}金銅独尊座像懸仏^{やっこ}」(有形文化財：工芸品)。左手に薬壺を持った薬師如来の座像で、高さ11cmほどの小像です。神社やお堂に吊りかけて祀られたものなので、懸仏といわれます。

2点目は、「おしらさま」(民俗文化財：有形民俗)。養蚕や牛馬の神様として信仰されてきました。祭日に集落の女性や子どもたちが集まって、「おしらさま」に新しい布を着せたり、抱いたりおぶったりして遊ぶ賑やかなお祭りをします。写真でみるとおり2対1体で、本体に天正2年(1574)の銘が記され、県内でも古いものとされています。

3点目は、「^{どうほうらいきょう}銅蓬萊鏡^{わきょう}」(有形文化財：工芸品)。室町時代の作とみられる和鏡で4面(梅花・亀甲・菊花・蓬萊の図柄)が市指定になっており、そのうちの蓬萊鏡1面を展示しております。蓬萊とは、中国の伝説で仙人が住む不老不死の地とされる霊山のことです。地文には、^{そうちよう}双鳥(2羽の鳥)が描かれています。

「金銅独尊座像懸仏」と「おしらさま」は、今まで個人の方が所蔵していたものですが、「長く保存管理して、より多くの人たちに見てもらいたい」という、所有者のご厚意により当館へご寄贈いただきました。

ぜひ一度、ご来館のうえご覧いただければと思います。お待ちしております。



市指定民俗文化財(有形民俗)
「貫頭式おしらさま木像」



問い合わせ 北上山地民俗資料館(76-2167)

先生は大学生！ みやこ・イングリッシュキャンプ

1月14日(金)、崎山小学校を会場に「みやこ・イングリッシュキャンプ」をオンラインで開催しました。宮古市は平成26年に東北学院大学と連携協力協定を締結しています。その一環として、東北学院大学の教員および学生による宮古市の小学生向け英語教育事業「みやこ・イングリッシュキャンプ」を実施してきました。新型コロナウイルス感染症の影響により、試験的に遠隔(オンライン)で実施しました。

当日は、遠隔会議システム(Zoom)を介して、スマートイノベーションラボ仙台(NTT東日本)と崎山小学校を結び、全校児童を対象に、外国語活動と外国語科の授業を行いました。授業を担当したのは、文学部教育学科2・3年生です。数人ずつのグループを編成し、1・2年生、3・4年生、5年生、6年生、特別支援学級の合計5つの授業を行いました。

授業を受けた児童からは、「英語がいっぱい言えたのでよかった」「仙台と宮古の有名な場所を外国語で言えるようになったのでうれしかった」「難しい英語もあったけれど、大学生のみなさんが一緒に言ってくれたのでわかりやすかった」「大学生のおかげで英語についてもっと知りたくなった」などの声がありました。業間時間には、大学生活や仙台市のことなど外国語以外の話題について児童と大学生が交流する姿も見られました。

従来の対面形式からオンラインでの実施となりましたが、普段の授業で学んでいる外国語を使って大学生と交流する経験をとおして、外国語に対する関心をより深める機会となりました。



3・4年生。先生の話をしっかり聞いています。



問い合わせ 学校教育課(68-9118)

「成人式」から「20歳(はたち)のつどい」へ

民法の一部を改正する法律（成年年齢関係）が令和4年4月1日から施行され、成年年齢が18歳になったことから、1月に開催していましたが「宮古市成人式」の名称を「20歳(はたち)のつどい」に変更し、これまでどおり対象年齢を20歳として開催します。

今年度、20歳を迎えられる皆様のたくさんのご参加をお待ちしています。

明治9年から、成年年齢は20歳とされてきましたが、約140年ぶりに見直しが行われました。

成年年齢の引き下げにより、親の同意を得なくても様々な契約が18歳および19歳の方もできるようになりましたが、飲酒や喫煙ができる年齢は20歳のまま維持されています。

成年年齢の見直しは、若者の自己決定権を尊重するものであり、より積極的な社会参加を促すことになると考えられています。

「20歳のつどい」の開催にあたっては、参加対象となる皆様から、式典実行委員を募集します。式典への“積極的な”ご参加をよろしくお願いします。



令和4年宮古市成人式の様子



問い合わせ 生涯学習課 (68-9119)

教育委員会議の主な議案 (令和3年12月から令和4年6月まで)

「教育委員会議」とは、教育行政に関して重要な事項を審議するための会議です。

令和3年12月から令和4年6月までの間、定例会を7回、臨時会を3回開催しました。

主な議案は下記のとおりです。

- ◆教育財産の用途廃止に関し議決を求めることについて
- ◆宮古市立学校教員住宅規則の一部を改正する規則
- ◆宮古市学校運営協議会規則
- ◆令和4年度宮古市教育行政方針に関し議決を求めることについて
- ◆令和4年度宮古市教育行政施策の方針及び重点を定めることに関し議決を求めることについて
- ◆令和4年度宮古市一般会計予算(教育関連予算)に関し議決を求めることについて
- ◆宮古市教育財産管理規則等の一部を改正する規則

- ◆宮古市指定無形民俗文化財の指定に関し議決を求めることについて
- ◆宮古市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則
- ◆宮古市教育委員会代決専決規程の一部を改正する訓令

その他、一般会計補正予算案件、人事案件などの議案を含む計36件について審議しました。

教育委員会議は、どなたでも傍聴することができます。開催日時等は、市ホームページでお知らせします。

(https://www.city.miyako.iwate.jp/index/shimin/education_meeting.html)



問い合わせ 教育委員会事務局総務課 (68-9114)

第16回宮古市小学生ドッジボール大会が開催されました

6月25日(土)、第16回宮古市小学生ドッジボール大会が開催されました。

各チームそれぞれの特徴や強みを存分に発揮し、仲間とともに優勝を目指しました。小学生らしい元気いっぱいのプレーやチームのみんなで喜び合う姿が印象的でした。

3・4年生の部と5・6年生の部の2種目に分かれ、予選リーグから決勝トーナメントまで、熱戦が繰り広げられました。



熱戦を繰り広げました！

【🏆大会結果🏆】

○3・4年生の部

優勝：津軽石ファイターズ

準優勝：シーブルー磯鶏

第3位：崎山ドラゴンズ

第3位：鍛小スパーク

○5・6年生の部

優勝：津軽石オールスターズ

準優勝：花輪リベンジャーズ

第3位：鍛小タイフーン

第3位：宮小飛球ヨッシーズ



チーム全員での円陣



宮古っこ給食
まるごと宮古食材の日

📞 問い合わせ 生涯学習課 (68-9120)

給食センターでは、地産地消を推進し、子どもたちが地元の食材への理解を深め、より身近に感じることができるよう「宮古っこ給食～まるごと宮古食材の日～」を実施しています。

各給食センターが、市内の生産者や加工業者と連携し、宮古産の食材を7割以上使用した給食を年に10回ほど提供する取り組みです。

一口に宮古産の食材を7割以上使用するといっても、難しいこともあります。

近年の主要魚種の水揚量の減少、単価上昇などにより、給食の献立に大きな影響が出ているためです。このことから、給食センターでは、「宮古トラウトサーモン」「マダラ」の使用に加え、昨年は新たな食材として「シイラ」を使用しました。



「シイラ」や宮古産食材を使用した「宮古っこ給食」

みなさんは「シイラ」という魚を見たり、聞いたりしたことがありますか？（別名「まんびき」と呼ぶ地域もあるようです。）

南の暖かい海流に生息する魚ですが、近年、宮古の定置網に入るようになりました。地球温暖化の影響でしょうか。

最近では、異常気象や天候不良の影響により、野菜も値上がり傾向にあり、給食センターの栄養教諭は献立を立てるのに一苦労しています。

これからも、宮古産の食材を使用した献立の提供や、給食だよりによる情報の発信

を通じて、食育および地産地消の推進に取り組んでまいります。

📞 問い合わせ 新里給食センター (79-1020)